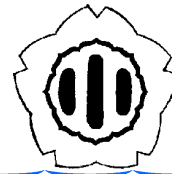


12月

けやき



学校だより

2024 (R6) 年

12月25日発行

2学期の終わりとともに、2024年もしめくくり

12月23日、体育館で2学期の終業式を行いました。2学期は、まだ暑い最中の8月26日から始まり、夏、秋、冬と3つの季節をまたぐ82日間でした。その間、保護者の皆様には本校教育の推進にご理解ご協力いただき誠にありがとうございました。児童には、それぞれの教室での授業、学校行事や児童会活動などの中で、様々な学びがあったと思います。2学期児童の様子については、個人懇談でお話したり、通知表に記載したりしております。せっかくの休みですから、ぜひゆったりと時間をとり、子供たちの話を聞いて賞賛してあげてください。

12月にもいくつかの行事や集会がありました。その1つが校内マラソン大会です。毎朝のチャレンジランで、持続走の練習をし、本番を迎えることができました。人生をマラソンに例えることがあります。それは、それぞれの人なりのペース（進み方）があることや、「やめたい。立ち止まりたい。」という気持ちとの葛藤を乗り越えて、はじめて先に進むことができるからかもしれません。児童それぞれが頑張っている姿に感動し、見ていてうれしくなりました。

いよいよ年の瀬、2024年ともお別れです。お正月の能登半島地震から始まり、飛行機事故、夏の水害、大谷翔平選手の大活躍、ノーベル平和賞・・・と様々な出来事があった1年でした。最後にはやはり自分自身の今年1年を振り返り、また決意新たに2025年を迎えたいものです。お世話になりました。どなた様もよいお年を。



信なくば立たず 先輩 元内閣総理大臣三木武夫

12月9日(月)は、本校の卒業生である故三木武夫先生が、第66代内閣総理大臣に就任して50年目の日でした。本校でも、先生の偉業をたたえ、縁のある地域の方にも来ていただき、ささやかな記念行事を行いました。

先生は、30歳から51年間衆議院議員を務められ、憲政の神様といわれた尾崎行雄とともに、日本で2人しかいない名誉衆議院議員です。これは政治家として長年信頼を受け続けられた証です。地元にとっては、ダム建設や国道318号線への格上げなど、後々の私たちの暮らしに影響を与える事業に多大な貢献をしてくださいました。

児童には、「先生も、皆さんと同じように、あの山を見ながらこの学校に通いました。先生のように、人から信頼され、社会に貢献できるような人になってほしいです。」と伝えました。学校は児童の自己実現を支援する場です。この学校から再び先生のように、社会に寄与できるような人材も育ててくれることを期待しています。



12月のアルバム



校内マラソン大会



クリスマス集会



車いす・高齢者介護体験



どんぐり集め in ビオトープ